

それぞれの 復興元年

講演

「首長パンチ みちのく復興編」

佐賀県武雄市長 樋渡 啓祐 氏



「陸前高田市の現状と課題」

岩手県陸前高田市副市長 久保田 崇 氏



被災地復興の事例報告

- ①宮古市役所 那波 昌幸
- ②岩手県立大学 復興girls* 野中里菜 阿部夏美
- ③SAVE IWATE 寺井良夫

2012
5/12 土

13:00▶17:30

●定員 180名

●会場 ホテルルイズ
3階 万葉の間

岩手県盛岡市盛岡駅前通7-15
(JR盛岡駅前より徒歩2分)

●参加費 1,500円 (学生1,000円)

●交流会 18:30より同会場 参加費4,500円




敷居は低く、志は高く。

— 語られる「復興」から、自ら思い描き、拓く「復興」へ —

震災から一年が経過し、道路の復旧や住宅の再建などが急がれる今、一人ひとりの生の充実に向けて議論を尽くすこと、考え抜くことにもこだわりたい。盛岡勉強会は、講演、事例報告、トークセッションを通じ、支援者・被災者の垣根を越えた「それぞれの復興元年」を考える契機にしたいと考えます。

それぞれの復興元年

● タイムスケジュール

- 13:00 インフォメーション
- 13:15 被災地復興の事例報告
 - ①宮古市役所 那波 昌幸
 - ②岩手県立大学 復興girls* 野中里菜 阿部夏美
 - ③SAVE IWATE 寺井良夫
- 14:15 講演「陸前高田市の現状と課題」
岩手県陸前高田市副市長 久保田 崇氏
- 15:15 休憩 (名刺交換タイム)
- 15:25 講演「首長パンチ みちのく復興編」
佐賀県武雄市長 樋渡 啓祐氏
- 16:25 休憩
- 16:35 トークセッション (樋渡啓祐氏×久保田崇氏) 進行役：加藤勝 (盛岡市役所)
- 17:30 閉会
- 18:30 交流会 (同会場にて) 

後日5/13(日)
エクスカーション開催！

「盛岡まちあるき」

ボランティア観光ガイド
『盛岡ふるさとガイド』の案内により
盛岡のまち歩きを楽しむほか
震災の内陸避難者の支援拠点施設
『もりおか復興支援センター』を視察します

※参加費 **300円**
他飲食費自己負担有り



樋渡 啓祐氏
HIWATASHI KEISUKE
佐賀県武雄市長

1969年佐賀県武雄市生まれ。1993年東京大学経済学部を卒業後、総務庁に入庁。内閣府参事官補佐などを歴任後、2006年に武雄市長選挙に立候補、当選する。当時、全国最年少市長。
市長就任後は、テレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」のロケ誘致や武雄市民病院の民間移譲、「お結び課」や「いのしし課」の設置など、既存の考え方にとらわれない斬新な政策を展開している。
また、震災発生後は、いち早く被災地支援課を設立するなど、被災地支援にも積極的に取り組んでいる。なお、今年のAERA新年号では、「日本を立て直す100人」の一人に選出されている



久保田 崇氏
KUBOTA TAKASHI
岩手県陸前高田市副市長

1976年静岡県掛川市生まれ。京都大学総合人間学部卒業後、国家公務員採用1種試験(法律職)に合格し、2001年内閣府入り。ニート対策を内容とする「子ども・若者育成支援推進法」の制定等に携わる。2005年、英国ケンブリッジ大学にて経営学修士号(MBA)を取得。
プライベートでは、異業種交流会の運営や、NPO法人プロジェクトK(新しい霞ヶ関を創る若手の会)理事を務める。昨年8月からは、陸前高田市副市長に就任。
現在は同市戸羽市長の右腕として復興に向け全力で取り組んでいる。



那波 昌幸
NAWA MASAYUKI
岩手県宮古市職員

震災前から東北OMのメンバーであった、宮古市の職員。津波遺留品の管理を通じて感じた行政の限界、支援活動のつながり、ソーシャルネットワークの有効性など、被災地職員として震災後に感じた様々な想い、これからの課題を熱く伝えます！



復興girls*

岩手県立大学の女子学生による、地域貢献イベントの企画団体。震災後にチームを立ち上げ、被災地で仕事の復興の手助けをする活動を展開中。活動の中で何を感じたのか。彼女たちが見つめてきたこれまでの復興とは。



SAVE IWATE

震災直後に立ち上がった被災地支援チーム。活動拠点も支援物資を運ぶ車もない中から、人々の故郷を思う気持ち、善意、繋がりを持ち所に支援活動を開始。今、支援の輪は全国、海外にも広がっています。これからの支援のありかたをSAVE IWATEが問う。

●お申込み先
tohoku.om@gmail.com

●申込期日
5月8日(火)

●申込みにあたっての記載内容

- ①氏名
- ②勤務先／大学名
- ③連絡先(E-mailアドレス)
- ④交流会参加の可否
- ⑤エクスカーション参加の可否

「東北まちづくりオフサイトミーティング」とは？

東北まちづくりオフサイトミーティング(東北OM)は、「東北」をフィールドに、まちづくり・組織づくり・人づくりを目指し、自治体職員や民間企業の社員、学生など様々な立場の人が交流・情報交換する、緩やかなつながりの組織です。平成21年6月設立以降、会員数は500名に達し、定期的な勉強会やメーリングリストでの情報交換、交流イベントなどの活動を行っています。東北OM公式サイトもぜひご覧ください。